

第 82 回 I C A 国際協同組合デー & 第 10 回国連協同組合の国際デー
(2004 年 7 月 3 日)
に寄せる
ファン・ソマビア I L O 事務局長メッセージ

「公正なグローバル化に向けての協同組合 - すべての人々への機会の創出」

国際協同組合運動と共に、第 82 回 I C A (国際協同組合同盟) 国際協同組合デー及び第 10 回国連協同組合の国際デーを祝うことができ光栄に存じます。この日を、「すべての人々に機会を創り出す公正なグローバル化の構築」という我々の時代の大きな課題に捧げる皆様のイニシアティブに対しお慶びを申し上げます。

協同組合運動にはこの目標達成において重要な役割を演じていただいています。

I L O は 2 年前に、グローバル化の社会的側面に関する議論のあらゆる側面を反映する 26 人の高名な識者にお集まりいただき、これに関する世界委員会を設置しました。多様な発言の中からやがて統一した見解が登場しました。それは、グローバル化は変えることができるし、変えなくてはならないという見解です。

「A Fair Globalization: Creating Opportunities for All (公正なグローバル化：すべての人々に機会を創り出す)」と題する委員会の報告書は、開放された社会、開放経済、より多くの機会、そして物品、知識、アイデアのより自由な交流といった利点をもたらすグローバル化の潜在力を認めながら、世界経済が現在機能する仕方の中に深く根を下ろした、容易に取り除けない不均衡の存在を指摘します。

報告書が掲げる主要なメッセージの 1 つに、グローバル化は足元から始まるというものがあります。グローバル化が成功するには、つまり人々を中心に据えたグローバル化には、健全な国家政策及び地域政策を基礎とした上手な現地化が求められるということです。報告書はまた、世界経済における公正なルール、そして国家が効果的に活動する余地を作り上げるより良い世界的なガバナンス(統治)を求めています。

グローバル化が作り出した機会を男女が共に獲得できるよう能力構築、環境整備を行い、グローバル化のマイナス面に対する緩衝装置を提供する上で、協同組合は大いに助けになることができます。地域社会に深く根ざした協同組合はまた、世界全体で 8 億世帯を代表する世界的な運動の一部でもあります。事業団体として経済発展に寄与し、最小規模の生産者に市場機会を開き、地元の比較優位を活用し、地元の強みを引き出しています。人間及び社会の価値に導かれ、集団の力に依拠し、組合員、その家族、その地域社会の安寧を推進しています。

協同組合組織は、国、地域、世界の議論の場に組合員の声を届けます。人々の権利、希望、ニーズ、アイデンティティを認識しかつ尊重する協同組合は、グローバル化の重要な擁護者です。協同組合はまた、この目標を実現するために具体的な行動を取ることもできます。そして、公正と連帯の理念に導かれた協同組合運動は、内外に協力関係を構築する余地が大いに残されています。

I L O の 2002 年の協同組合の振興勧告(第 193 号)及び今年の初めに I C A ・ I L O 間で締結された覚書は、世界の協同組合運動と I L O の協力関係及び連携のための堅固な基盤を提供します。男女双方のまともな生活と生計の推進、貧困の輪の打破、そして公正で取り残しのないグローバル化に向け着実な進歩を刻むため、共に協力していくことを期待するものであります。